

トピックス

江別高校生活デザイン科の授業・行事あれこれ

北海道江別高等学校
生活デザイン科
No.13
令和8年10月6日

さんフェア 2026～3 部門で日頃の学びを発信～

作品研究発表では
最優秀賞を受賞

令和8年9月26日(土)に、「さんフェア2026(北海道産業教育フェア)」が開催されました。北海道の専門高校生が日頃の学習や実習、研究活動の成果を発表する機会として、3年に一度開催される「北海道産業教育フェア」です。

農業、工業、商業、水産、家庭・福祉、看護、総合など、各分野の専門高校生が一堂に会し、作品の展示や実演・販売、意見・体験発表、作品・研究発表などを行います。専門的な知識や技術を生かした多彩な学習成果を広く発信するとともに、生徒同士が交流し、互いの学びを深める場となっています。

2026年は、道庁赤れんがを会場に、「道産子よ未来へかけろ!!～北の大地が育む産業のバトン～」をキャッチフレーズとして開催されました。

また、開催に先立ち行われた「ポスターデザイン部門」では、本校生活デザイン科3年川原 凛さんが最優秀賞を受賞しました。受賞作品は「さんフェア2026」の公式ポスターに採用され、会場や広報などで使用されました。専門的な学びを生かした作品が大会そのものを彩るポスターとして採用されたことは、本校生活デザイン科にとっても大きな成果となりました。



作品展示 — 6校それぞれの学びと特色を紹介



作品展示では家庭部会に所属する専門高校6校(江別・当別・三笠・置戸・函館大妻・文教大附属)の学校パンフレットの配布のほか、授業での作品展示を行いました。函館大妻高校からは美容に関する授業や検定についての展示、当別高校からは学科紹介パネルが出品されました。本校生活デザイン科からは、卒業生が製作したドレスをはじめ、インテリア計画・模型、染織制作によるバッグなどを展示しました。また、全国高等学校家庭クラブ研究発表大会ホームプロジェクトの部で文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞した松崎さんの「ペットの防災」に関する展示も行いました。

意見・体験発表 — 「私の夢への一步」を自分の言葉で

8月下旬に開催された家庭部会意見・体験発表大会で代表に選出された、生活デザイン科2年小倉えみなさんが、「私の夢への一步～保育士を目指して～」と題して発表しました。幼い頃に触れ合った保育士の先生との関わりを原点到、生活デザイン科での学習やさまざまな経験を重ねる中で、将来の目標が少しずつ具体化していった自身の気持ちの変化について発表しました。自分自身の経験を振り返りながら、将来の夢に向かって一歩ずつ進んでいく思いを、自分の言葉で伝えました。



作品研究発表 — 地域とのつながりから生まれた研究



作品研究発表では、本校家庭クラブの生徒が、よつば保育園と連携して取り組んだ「保育園児用お外遊びパンツの製作と改善」について発表しました。保育園での実習をきっかけに、園児が外遊びで使用するパンツの不足や破れなどの課題に着目。被服製作技術検定で学んだことを生かしてパンツを製作し、実際に園児に使用してもらうことで、製作後にも新たな課題を発見しました。園の先生方の声を聞きながら改善を重ね、最終的に0歳児用25枚、1歳児用31枚のパンツを製作しました。「まず、やってみる」ことから始まった活動を通して、実際の声を聞くことの大切さや、課題を見つけ、改善する力を学びました。この研究発表が高く評価され、最優秀賞を受賞しました。